

# ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・インド・フォーカス)

## 運用報告書(全体版)

第10期(決算日2019年9月12日)

作成対象期間(2018年9月13日~2019年9月12日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 商品分類   | 追加型投信/海外/株式   |  |
| 信託期間   | 2009年9月16日から2024年9月12日までです。   |  |
| 運用方針   | 野村インド株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてインドの企業の株式(DR(預託証券))を含みます。)に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。<br>実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 |  |
| 主な投資対象 | ノムラ・アジア・シリーズ<br>(ノムラ・インド・フォーカス)<br>マザーファンド  | マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。<br>インドの企業の株式(DR(預託証券))を含みます。)を主要投資対象とします。       |
|        | ノムラ・アジア・シリーズ<br>(ノムラ・インド・フォーカス)<br>マザーファンド  | 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。<br>株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 主な投資制限 |   |  |
| 分配方針   | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。  |  |

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

| 決算期             | 基準価額   |           |           | ベンチマーク    |           | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産額    |
|-----------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|---------|
|                 | (分配落)  | 税込<br>分配金 | 期中<br>騰落率 | 期中<br>騰落率 | 期中<br>騰落率 |        |        |         |
|                 | 円      | 円         | %         |           | %         | %      | %      | 百万円     |
| 6期(2015年9月14日)  | 17,084 | 400       | 18.2      | 156.89    | 1.7       | 95.0   | —      | 12,375  |
| 7期(2016年9月12日)  | 16,609 | 350       | △0.7      | 154.09    | △1.8      | 96.3   | —      | 11,617  |
| 8期(2017年9月12日)  | 22,797 | 650       | 41.2      | 198.09    | 28.6      | 96.8   | —      | 105,846 |
| 9期(2018年9月12日)  | 21,480 | 600       | △3.1      | 195.99    | △1.1      | 98.7   | —      | 105,596 |
| 10期(2019年9月12日) | 18,728 | 450       | △10.7     | 183.14    | △6.6      | 97.9   | —      | 81,116  |

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク（=S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース））は、S&P BSE 200指数（インドルピーベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*S&P BSE 200指数は、スタンダード&プアーズが発表している、ムンバイ証券取引所上場銘柄の主要200銘柄で構成される浮動株加重指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エルシーに帰属しております。

(出所) ブルームバーグ、為替レート（対顧客電信売買相場仲値）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日                | 基準価額   |       | ベンチマーク |       | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|--------------------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|
|                    | 騰落率    | 騰落率   | 騰落率    | 騰落率   |        |        |
| (期首)<br>2018年9月12日 | 円      | %     |        | %     | %      | %      |
|                    | 21,480 | —     | 195.99 | —     | 98.7   | —      |
| 9月末                | 20,571 | △4.2  | 192.35 | △1.9  | 96.2   | —      |
| 10月末               | 18,621 | △13.3 | 176.42 | △10.0 | 92.5   | —      |
| 11月末               | 20,857 | △2.9  | 197.56 | 0.8   | 94.0   | —      |
| 12月末               | 20,522 | △4.5  | 191.18 | △2.5  | 95.3   | —      |
| 2019年1月末           | 18,890 | △12.1 | 181.55 | △7.4  | 94.0   | —      |
| 2月末                | 19,460 | △9.4  | 186.68 | △4.8  | 94.9   | —      |
| 3月末                | 20,995 | △2.3  | 204.94 | 4.6   | 92.6   | —      |
| 4月末                | 20,915 | △2.6  | 205.69 | 4.9   | 92.6   | —      |
| 5月末                | 21,208 | △1.3  | 205.81 | 5.0   | 94.4   | —      |
| 6月末                | 20,783 | △3.2  | 202.61 | 3.4   | 94.2   | —      |
| 7月末                | 19,707 | △8.3  | 191.37 | △2.4  | 92.3   | —      |
| 8月末                | 18,813 | △12.4 | 178.93 | △8.7  | 91.7   | —      |
| (期末)<br>2019年9月12日 | 円      | %     |        | %     | %      | %      |
|                    | 19,178 | △10.7 | 183.14 | △6.6  | 97.9   | —      |

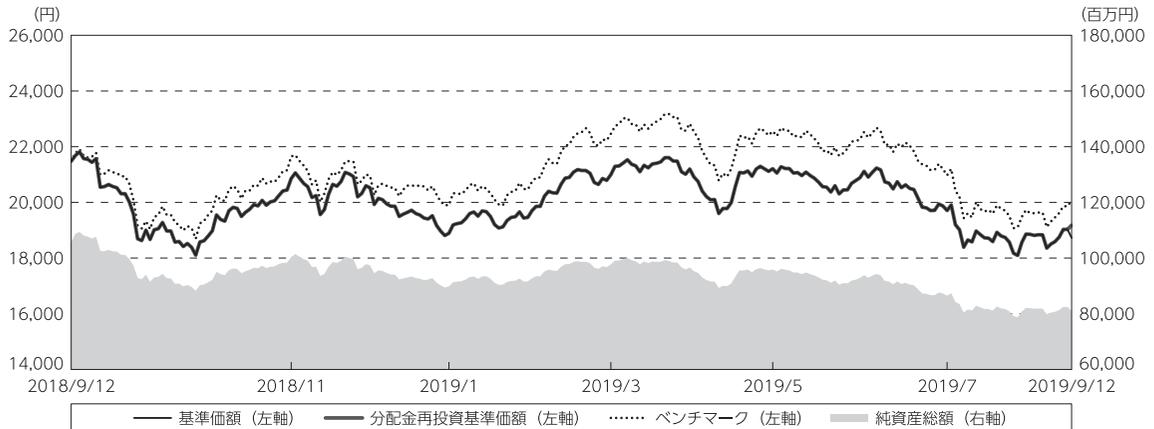
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年9月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース）です。ベンチマークは、作成期首（2018年9月12日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (下 落) 米国の長期金利上昇や米中貿易摩擦悪化が懸念されたこと、ノンバンクや住宅金融関連企業の流動性ひっ迫懸念が広がったこと
- (上 昇) 原油安に伴い通貨ルピーが上昇に転じたこと、政府とRBI（インド準備銀行）の対立が緩和したこと、米国の長期金利の低下を受けて新興国市場からの資金流出懸念が後退したこと
- (下 落) パテルRBI総裁の突然の辞任発表や、州議会選挙における与党BJP（インド人民党）の敗北が懸念されたこと、原油市況の回復から通貨ルピーの上昇が一服したこと
- (上 昇) カシミール地方をめぐるパキスタンとの緊張緩和の動きが好感されたこと、下院総選挙での与党連合の勝利観測が高まったことから外国人投資家の資金流入が拡大したこと

（下 落）インド政府の景気対策に対する先行き不透明感や2019年4－6月期の企業業績に対する警戒感が高まったこと、米中貿易摩擦の激化懸念から新興国通貨が売られ、通貨ルピーが下落したこと

## ○投資環境

インドの株式市場は、期初、ノンバンクや住宅金融関連企業の流動性ひっ迫懸念などから下落して始まりました。その後も、米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦悪化を背景とした世界同時株安の動きなどから下落基調となりました。2018年11月以降は、原油安に伴う通貨ルピーの上昇や、米国の長期金利の低下を受けて新興国からの資金流出懸念が後退したことなどから上昇に転じました。2019年3月には、カシミール地方をめぐるパキスタンとの緊張緩和の動きや、総選挙での与党連合の勝利観測が高まったことなどから続伸しました。5月には、トランプ米大統領の中国製品への追加関税引き上げ発表を受けて、米中貿易摩擦の悪化や世界景気減速への懸念から一時下落しましたが、総選挙の結果が判明し与党が圧勝したことや利下げ期待などから6月初旬に史上最高値を更新しました。7月以降は、予算案で市場が期待した追加的な景気刺激策が盛り込まれなかったことや、4－6月期の企業業績に対する警戒感などから下落し、期末にかけても米中貿易摩擦の激化などが懸念され軟調な展開となり、当期においてインド株式は下落しました。

為替市場では、2018年10月初旬にかけて、米国の長期金利上昇などを背景に米ドル高・円安となりました。しかし、12月後半から2019年初にかけて、世界的な景気減速懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから米ドル安・円高が進行しました。その後は4月にかけて、米国の景気減速懸念が後退したことや米中貿易協議進展への期待などから米ドル高・円安となりましたが、5月以降、期末にかけては米中貿易摩擦への警戒感や米国の利下げ観測を受けて米ドル安・円高が進行し、期を通じて米ドル安・円高となりました。一方、通貨ルピーは、米国の長期金利上昇や原油高によるインドの経常赤字拡大への懸念などから2018年10月にかけては米ドル高・ルピー安が進みました。その後は、原油価格の下落や米国の長期金利の低下などに伴い米ドル安・ルピー高となりました。2019年8月以降は、米中貿易摩擦の激化懸念などから新興国通貨全般に対するリスク回避の動きが強まったことなどから、米ドル高・ルピー安となり、ルピーの対円相場は期を通じてはルピー安・円高となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ 【野村インド株マザーファンド】

### ・期中の主な動き

- ①貸出シェアの拡大による恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行株を中心に金融セクターのオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資割合）を維持しました。一方、政府の価格介入の影響が懸念されたエネルギーセクターや、構造変化や規制等の政策の影

響を受けやすい情報技術、素材セクターなどはアンダーウェイト（ベンチマークより低い投資割合）を維持しました。

- ②GST（物品・サービス税）の導入を受けた税務処理などの効率化や、今後導入予定の排ガス規制への対応力、今後の需要回復局面などでの業績改善見通しを考慮し、大手自動車株などのオーバーウェイトを維持しました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

### [ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・印度・フォーカス）]

#### ・組入比率

主要投資対象である〔野村インド株マザーファンド〕受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

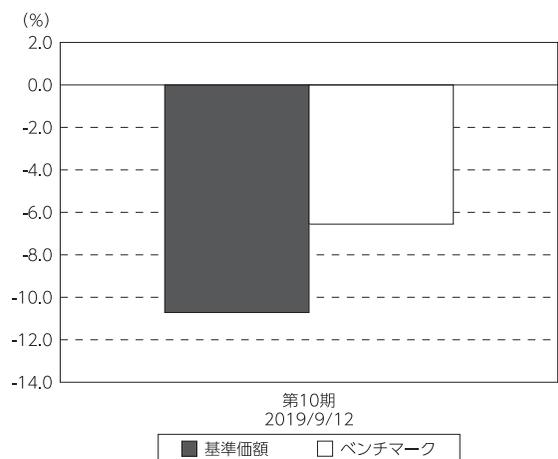
当期は、ベンチマーク（S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース））が6.6%の下落となったのに対して、基準価額は、10.7%の下落となりました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

#### （主なプラス要因）

- ①自己資本比率が高く、貸出残高の拡大が期待されることからオーバーウェイトとしていた貯蓄・抵当・不動産金融株や、貸出シェアの拡大による恩恵を受けることが期待されたことからオーバーウェイトとしていた民間銀行株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと
- ②政府による規制の影響や米中貿易摩擦への懸念などからアンダーウェイトとしていた素材セクターの株価騰落率がベンチマークを下回ったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース）です。

**（主なマイナス要因）**

- ①自動車需要や販売の回復が期待されることからオーバーウェイトとしていた自動車・自動車部品株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②構造変化や規制などの政策の影響が懸念されたことからアンダーウェイトとしていたソフトウェア・サービス株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

**◎分配金**

今期の収益分配金につきましては、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり450円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり・税込み）

| 項 目       | 第10期                      |
|-----------|---------------------------|
|           | 2018年9月13日～<br>2019年9月12日 |
| 当期分配金     | 450                       |
| （対基準価額比率） | 2.346%                    |
| 当期の収益     | —                         |
| 当期の収益以外   | 450                       |
| 翌期繰越分配対象額 | 8,727                     |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村インド株マザーファンド]

#### ・投資環境

インド経済の最悪期は過ぎつつあると見ており、金融緩和や追加的な景気刺激策に支えられ今後徐々に回復基調に転じてくると見ています。8月30日に発表された4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比+5.0%と1－3月期の同+5.8%から大幅に減速、市場予想を下回る内容となりました。景気が減速した背景は、総選挙を前に経済活動全般に見送り姿勢が強まったことや、昨秋以降のノンバンクの流動性ひっ迫を背景とする民間消費の伸び悩みなどと考えられます。これらに対し、RBIは既に政策金利を4会合連続で、合計1.1%引き下げており、加えてノンバンクへの流動性供給を促すなどの金融緩和策を実施していることから、これらの経済効果が今後は出てくると見ています。また、減速が目立つ自動車等の特定セクターに対し、減価償却率の引き上げや登録料引き上げの延期などの支援措置が打ち出されたことはプラス材料です。消費が盛り上がるディワリ（ヒンズー教の新年）商戦への期待もあり、今後景気の底打ち感が出てくると見ています。

#### ・投資方針

- ①ファンドは内需関連銘柄に重点的に注目しています。特に、貸出残高拡大による恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行を選別し、高めの投資比率を維持する方針です。また、生活必需品セクターもGST導入や農村部経済の回復の恩恵を受けると期待されることから、ベンチマークより高めの投資比率を維持する方針です。構造変化や規制等の政策の影響を受けやすい情報技術セクターなどは慎重に見ており、ベンチマークに比べ相対的に低めの投資比率を維持する方針です。
- ②銘柄選択においては、利益成長の確度が高く、バリュエーション（投資価値評価）が割安な銘柄を中心に組み入れていく方針です。

### [ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・印度・フォーカス）]

[野村インド株マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行いません。実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月13日～2019年9月12日)

| 項 目                   | 当 期      |            | 項 目 の 概 要  |
|-----------------------|----------|------------|--|
|                       | 金 額      | 比 率        |  |
| (a) 信 託 報 酬           | 円<br>380 | %<br>1.890 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率   |
| （ 投 信 会 社 ）           | ( 195)   | ( 0.972)   | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等                             |
| （ 販 売 会 社 ）           | ( 174)   | ( 0.864)   | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等                           |
| （ 受 託 会 社 ）           | ( 11)    | ( 0.054)   | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等  |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 11       | 0.054      | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 株 式 ）               | ( 11)    | ( 0.054)   |  |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税     | 12       | 0.057      | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| （ 株 式 ）               | ( 12)    | ( 0.057)   |  |
| (d) そ の 他 費 用         | △105     | △0.524     | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  |
| （ 保 管 費 用 ）           | ( 5)     | ( 0.026)   | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用                      |
| （ 監 査 費 用 ）           | ( 1)     | ( 0.003)   | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  |
| （ そ の 他 ）             | (△111)   | (△0.553)   | 信託事務の処理に要するその他の諸費用   |
| 合 計                   | 298      | 1.477      |  |
| 期中の平均基準価額は、20,111円です。 |          |            |  |

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

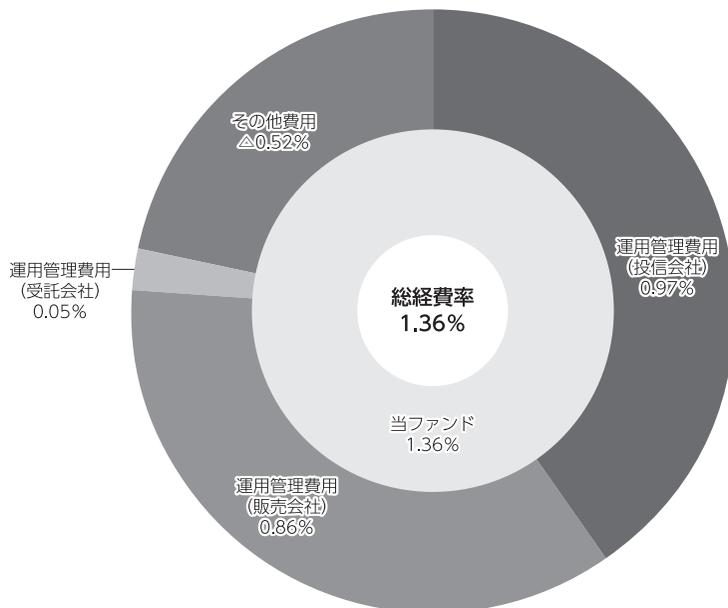
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年9月13日～2019年9月12日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄           | 設 定             |                 | 解 約             |                  |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
|               | 口 数             | 金 額             | 口 数             | 金 額              |
| 野村インド株マザーファンド | 千口<br>1,357,526 | 千円<br>4,259,769 | 千口<br>6,444,794 | 千円<br>19,492,608 |

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2018年9月13日～2019年9月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目                 | 当 期           |  |
|---------------------|---------------|--|
|                     | 野村インド株マザーファンド |  |
| (a) 期中の株式売買金額       | 56,866,174千円  |  |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 89,326,696千円  |  |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.63          |  |

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月13日～2019年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月12日現在)

## 親投資信託残高

| 銘 柄           | 期首(前期末)          | 当 期 末            |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 口 数              | 口 数              | 評 価 額            |
| 野村インド株マザーファンド | 千口<br>32,632,171 | 千口<br>27,544,904 | 千円<br>80,954,473 |

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月12日現在)

| 項 目           | 当 期 末      |       |
|---------------|------------|-------|
|               | 評 価 額      | 比 率   |
|               | 千円         | %     |
| 野村インド株マザーファンド | 80,954,473 | 96.2  |
| コール・ローン等、その他  | 3,191,216  | 3.8   |
| 投資信託財産総額      | 84,145,689 | 100.0 |

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村インド株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（81,853,924千円）の投資信託財産総額（84,263,582千円）に対する比率は97.1%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1インドルピー=1.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月12日現在)

## ○損益の状況 (2018年9月13日～2019年9月12日)

| 項 目                | 当 期 末           |
|--------------------|-----------------|
|                    | 円               |
| (A) 資産             | 84,145,689,450  |
| コール・ローン等           | 3,141,799,628   |
| 野村インド株マザーファンド(評価額) | 80,954,473,540  |
| 未収入金               | 49,416,282      |
| (B) 負債             | 3,029,132,797   |
| 未払収益分配金            | 1,949,114,607   |
| 未払解約金              | 206,294,771     |
| 未払信託報酬             | 872,224,132     |
| 未払利息               | 4,108           |
| その他未払費用            | 1,495,179       |
| (C) 純資産総額(A-B)     | 81,116,556,653  |
| 元本                 | 43,313,657,943  |
| 次期繰越損益金            | 37,802,898,710  |
| (D) 受益権総口数         | 43,313,657,943口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D)    | 18,728円         |

| 項 目              | 当 期               |
|------------------|-------------------|
|                  | 円                 |
| (A) 配当等収益        | △ 580,394         |
| 支払利息             | △ 580,394         |
| (B) 有価証券売買損益     | △ 7,840,719,992   |
| 売買益              | 1,061,146,796     |
| 売買損              | △ 8,901,866,788   |
| (C) 信託報酬等        | △ 1,774,017,583   |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 9,615,317,969   |
| (E) 前期繰越損益金      | 870,057,305       |
| (F) 追加信託差損益金     | 48,497,273,981    |
| (配当等相当額)         | ( 18,086,953,863) |
| (売買損益相当額)        | ( 30,410,320,118) |
| (G) 計(D+E+F)     | 39,752,013,317    |
| (H) 収益分配金        | △ 1,949,114,607   |
| 次期繰越損益金(G+H)     | 37,802,898,710    |
| 追加信託差損益金         | 48,497,273,981    |
| (配当等相当額)         | ( 18,091,932,173) |
| (売買損益相当額)        | ( 30,405,341,808) |
| 分標準備積立金          | 2,183,093,005     |
| 繰越損益金            | △12,877,468,276   |

(注) 期首元本額は49,161,154,899円、期中追加設定元本額は4,705,468,601円、期中一部解約元本額は10,552,965,557円、1口当たり純資産額は1.8728円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額361,873,088円。(野村インド株マザーファンド)

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2018年9月13日～2019年9月12日）は以下の通りです。

| 項 目                          | 当 期                       |
|------------------------------|---------------------------|
|                              | 2018年9月13日～<br>2019年9月12日 |
| a. 配当等収益(経費控除後)              | 0円                        |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 0円                        |
| c. 信託約款に定める収益調整金             | 35,619,805,705円           |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金           | 4,132,207,612円            |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d)           | 39,752,013,317円           |
| f. 分配対象収益(1万口当たり)            | 9,177円                    |
| g. 分配金                       | 1,949,114,607円            |
| h. 分配金(1万口当たり)               | 450円                      |

## ○分配金のお知らせ

|                |      |
|----------------|------|
| 1万口当たり分配金（税込み） | 450円 |
|----------------|------|

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限の例外の規定に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年12月7日>

# 野村インド株マザーファンド

## 運用報告書

第10期（決算日2019年9月12日）

作成対象期間（2018年9月13日～2019年9月12日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |  |
|--------|--|
| 運用方針   | インドの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。<br>株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性、流動性等を総合的に勘案して、投資銘柄を選別します。また、トップダウン・アプローチによる業種別配分を加味し、ポートフォリオを構築します。<br>外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 |
| 主な投資対象 | インドの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。  |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。<br>外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。   |

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

| 決算期             | 基準価額   |       | ベンチマーク |       | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産額    |
|-----------------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|
|                 | 騰落     | 中率    | 騰落     | 中率    |        |        |         |
|                 | 円      | %     |        | %     | %      | %      | 百万円     |
| 6期(2015年9月14日)  | 22,437 | 20.5  | 173.81 | 1.7   | 95.2   | —      | 12,350  |
| 7期(2016年9月12日)  | 22,722 | 1.3   | 170.72 | △ 1.8 | 96.5   | —      | 11,594  |
| 8期(2017年9月12日)  | 32,745 | 44.1  | 219.46 | 28.6  | 97.0   | —      | 105,639 |
| 9期(2018年9月12日)  | 32,295 | △ 1.4 | 217.13 | △ 1.1 | 98.9   | —      | 107,278 |
| 10期(2019年9月12日) | 29,390 | △ 9.0 | 202.90 | △ 6.6 | 98.1   | —      | 82,658  |

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク (=S&P BSE インド 200種指数 (円換算ベース)) は、S&P BSE 200指数 (インドルーピーベース) をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*S&P BSE 200指数は、スタンダード&プアーズが発表している、ムンバイ証券取引所上場銘柄の主要200銘柄で構成される浮動株加重指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エルシーに帰属しております。

(出所) ブルームバーグ、為替レート (対顧客電信売買相場仲値)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

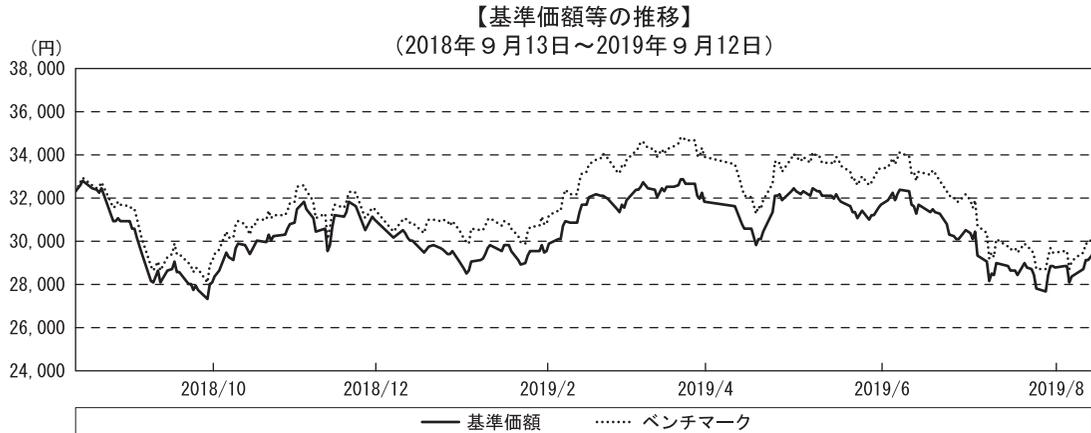
| 年月日        | 基準価額   |        | ベンチマーク |        | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|            | 騰落     | 率      | 騰落     | 率      |        |        |
| (期首)       | 円      | %      |        | %      | %      | %      |
| 2018年9月12日 | 32,295 | —      | 217.13 | —      | 98.9   | —      |
| 9月末        | 30,957 | △ 4.1  | 213.10 | △ 1.9  | 96.4   | —      |
| 10月末       | 28,065 | △ 13.1 | 195.45 | △ 10.0 | 92.7   | —      |
| 11月末       | 31,491 | △ 2.5  | 218.87 | 0.8    | 94.2   | —      |
| 12月末       | 31,029 | △ 3.9  | 211.80 | △ 2.5  | 95.4   | —      |
| 2019年1月末   | 28,606 | △ 11.4 | 201.14 | △ 7.4  | 94.2   | —      |
| 2月末        | 29,514 | △ 8.6  | 206.82 | △ 4.8  | 95.1   | —      |
| 3月末        | 31,895 | △ 1.2  | 227.05 | 4.6    | 92.7   | —      |
| 4月末        | 31,818 | △ 1.5  | 227.88 | 4.9    | 92.7   | —      |
| 5月末        | 32,323 | 0.1    | 228.01 | 5.0    | 94.6   | —      |
| 6月末        | 31,720 | △ 1.8  | 224.46 | 3.4    | 94.4   | —      |
| 7月末        | 30,126 | △ 6.7  | 212.02 | △ 2.4  | 92.5   | —      |
| 8月末        | 28,801 | △ 10.8 | 198.23 | △ 8.7  | 91.9   | —      |
| (期末)       |        |        |        |        |        |        |
| 2019年9月12日 | 29,390 | △ 9.0  | 202.90 | △ 6.6  | 98.1   | —      |

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、S&P BSE インド 200種指数 (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首32,295円から期末29,390円となりました。

- (下 落) 米国の長期金利上昇や米中貿易摩擦悪化が懸念されたこと、ノンバンクや住宅金融関連企業の流動性ひっ迫懸念が広がったこと
- (上 昇) 原油安に伴い通貨ルピーが上昇に転じたこと、政府とRBI (インド準備銀行) の対立が緩和したこと、米国の長期金利の低下を受けて新興国市場からの資金流出懸念が後退したこと
- (下 落) パテルRBI総裁の突然の辞任発表や、州議会選挙における与党BJP (インド人民党) の敗北が懸念されたこと、原油市況の回復から通貨ルピーの上昇が一服したこと
- (上 昇) カシミール地方をめぐるパキスタンとの緊張緩和の動きが好感されたこと、下院総選挙での与党連合の勝利観測が高まったことから外国人投資家の資金流入が拡大したこと
- (下 落) インド政府の景気対策に対する先行き不透明感や2019年4 - 6月期の企業業績に対する警戒感が高まったこと、米中貿易摩擦の激化懸念から新興国通貨が売られ、通貨ルピーが下落したこと

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・期中の主な動き

- ①貸出シェアの拡大による恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行株を中心に金融セクターのオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資割合）を維持しました。一方、政府の価格介入の影響が懸念されたエネルギーセクターや、構造変化や規制等の政策の影響を受けやすい情報技術、素材セクターなどはアンダーウェイト（ベンチマークより低い投資割合）を維持しました。
- ②GST（物品・サービス税）の導入を受けた税務処理などの効率化や、今後導入予定の排ガス規制への対応力、今後の需要回復局面などでの業績改善見通しを考慮し、大手自動車株などのオーバーウェイトを維持しました。

### ・為替ヘッジ

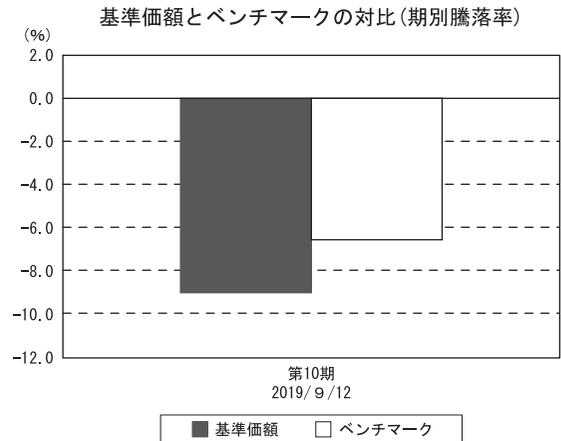
当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当期は、ベンチマーク（S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース））が6.6%の下落となったのに対して、基準価額は、9.0%の下落となりました。

### （主なプラス要因）

- ①自己資本比率が高く、貸出残高の拡大が期待されることからオーバーウェイトとしていた貯蓄・抵当・不動産金融株や、貸出シェアの拡大による恩恵を受けることが期待されたことからオーバーウェイトとしていた民間銀行株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと
- ②政府による規制の影響や米中貿易摩擦への懸念などからアンダーウェイトとしていた素材セクターの株価騰落率がベンチマークを下回ったこと



（注）ベンチマークは、S&P BSE インド 200種指数（円換算ベース）です。

### (主なマイナス要因)

- ①自動車需要や販売の回復が期待されることからオーバーウェイトとしていた自動車・自動車部品株の株価騰落率がベンチマークを下回ったこと
- ②構造変化や規制などの政策の影響が懸念されたことからアンダーウェイトとしていたソフトウェア・サービス株の株価騰落率がベンチマークを上回ったこと

## ◎今後の運用方針

### ○投資環境

インド経済の最悪期は過ぎつつあると見ており、金融緩和や追加的な景気刺激策に支えられ今後徐々に回復基調に転じてくると見ています。8月30日に発表された4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比+5.0%と1－3月期の同+5.8%から大幅に減速、市場予想を下回る内容となりました。景気が減速した背景は、総選挙を前に経済活動全般に見送り姿勢が強まったことや、昨秋以降のノンバンクの流動性ひっ迫を背景とする民間消費の伸び悩みなどと考えられます。これらに対し、RBIは既に政策金利を4会合連続で、合計1.1%引き下げており、加えてノンバンクへの流動性供給を促すなどの金融緩和策を実施していることから、これらの経済効果が今後は出てくると見ています。また、減速が目立つ自動車等の特定セクターに対し、減価償却率の引き上げや登録料引き上げの延期などの支援措置が打ち出されたことはプラス材料です。消費が盛り上がるディワリ（ヒンズー教の新年）商戦への期待もあり、今後景気の底打ち感が出てくると見ています。

### ○投資方針

- ①ファンドは内需関連銘柄に重点的に注目しています。特に、貸出残高拡大による恩恵を受け、不良債権比率の低い優良な民間銀行を選別し、高めの投資比率を維持する方針です。また、生活必需品セクターもGST導入や農村部経済の回復の恩恵を受けると期待されることから、ベンチマークより高めの投資比率を維持する方針です。構造変化や規制等の政策の影響を受けやすい情報技術セクターなどは慎重に見ており、ベンチマークに比べ相対的に低めの投資比率を維持する方針です。
- ②銘柄選択においては、利益成長の確度が高く、バリュエーション（投資価値評価）が割安な銘柄を中心に組み入れていく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月13日～2019年9月12日)

| 項 目                                       | 当 期                     |                                 | 項 目 の 概 要  |
|---|-------------------------|---------------------------------|--|
|   | 金 額                     | 比 率                             |  |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>( 株 式 )              | 円<br>17<br>( 17 )       | %<br>0.054<br>( 0.054 )         | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料   |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税<br>( 株 式 )              | 18<br>( 18 )            | 0.058<br>( 0.058 )              | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| (c) そ の 他 費 用<br>( 保 管 費 用 )<br>( そ の 他 ) | △161<br>( 8 )<br>(△169) | △0.528<br>( 0.026 )<br>(△0.554) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br><br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br><br>信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合 計                                       | △126                    | △0.416                          |  |
| 期中の平均基準価額は、30,528円です。                     |                         |                                 |  |

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年9月13日～2019年9月12日)

## 株式

|     |     | 買 付                         |                                      | 売 付                         |                                      |
|-----|-----|-----------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
|     |     | 株 数                         | 金 額                                  | 株 数                         | 金 額                                  |
| 外 国 | インド | 百株<br>274,240<br>( 52,931 ) | 千インドルピー<br>13,405,607<br>( 466,366 ) | 百株<br>597,033<br>( 11,624 ) | 千インドルピー<br>22,694,751<br>( 390,173 ) |

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 公社債

|    |     |                | 買付額                 | 売付額          |
|----|-----|----------------|---------------------|--------------|
| 外国 | インド | 社債券（投資法人債券を含む） | 千インドルピー<br>—<br>(-) | 千インドルピー<br>— |

\* ( )内は無償割当によるものです。

\* 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2018年9月13日～2019年9月12日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目                  | 当 期          |
|---------------------|--------------|
| (a) 期中の株式売買金額       | 56,866,174千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額   | 89,326,696千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 0.63         |

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年9月13日～2019年9月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年9月12日現在)

## 外国株式

| 銘柄                           | 期首(前期末) | 当 期 末  |           |           | 業 種 等       |
|------------------------------|---------|--------|-----------|-----------|-------------|
|                              |         | 株 数    | 株 数       | 評 価 額     |             |
|                              |         |        |           | 外貨建金額     |             |
| (インド)                        | 百株      | 百株     | 千インドルピー   | 千円        |             |
| RELIANCE INDUSTRIES LIMITED  | —       | 9,980  | 1,231,943 | 1,872,554 | 石油・ガス・消耗燃料  |
| EICHER MOTORS LTD            | 371     | 300    | 511,804   | 777,943   | 自動車         |
| INDUSIND BANK LTD            | 8,565   | —      | —         | —         | 銀行          |
| BRITANNIA INDUSTRIES LTD     | 3,432   | —      | —         | —         | 食品          |
| KOTAK MAHINDRA BANK LTD      | 5,394   | 6,644  | 980,125   | 1,489,791 | 銀行          |
| GLAXOSMITHKLINE CONSUMER     | 1,945   | 1,945  | 1,533,403 | 2,330,773 | 食品          |
| MPHASIS LTD                  | 15,200  | 26,412 | 2,615,396 | 3,975,402 | 情報技術サービス    |
| HOUSING DEVELOPMENT FINANCE  | 16,789  | 15,789 | 3,271,380 | 4,972,498 | 貯蓄・抵当・不動産金融 |
| ZEE ENTERTAINMENT ENTERPRISE | 21,157  | —      | —         | —         | メディア        |
| HCL TECHNOLOGIES LTD         | 22,594  | 14,330 | 1,515,758 | 2,303,952 | 情報技術サービス    |
| DABUR INDIA LTD              | 49,375  | 49,275 | 2,212,968 | 3,363,712 | パーソナル用品     |

| 銘柄                                      | 株数      | 当期        |           |            | 業種等         |  |
|---|---------|-----------|-----------|------------|-------------|--|
|   |         | 株数        | 評価額       |            |             |  |
|   |         |           | 外貨建金額     | 邦貨換算金額     |             |  |
| (インド)                                   | 百株      | 百株        | 千インドルピー   | 千円         |             |  |
| SANGHI INDUSTRIES LTD                   | 54,256  | —         | —         | —          | 建設資材        |  |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD                 | 4,347   | 4,196     | 2,768,556 | 4,208,206  | 自動車         |  |
| LARSEN&TOUBRO LIMITED                   | 22,755  | 22,755    | 3,103,094 | 4,716,703  | 建設・土木       |  |
| KALPATARU POWER TRANSMISSION            | —       | 23,000    | 1,073,755 | 1,632,107  | 建設・土木       |  |
| IIFL HOLDINGS LTD                       | 11,008  | —         | —         | —          | 資本市場        |  |
| MCLEOD RUSSEL INDIA LIMITED             | 64,752  | 64,752    | 75,436    | 114,663    | 食品          |  |
| ITC LTD                                 | 45,000  | 45,000    | 1,096,875 | 1,667,250  | タバコ         |  |
| SADBHAV ENGINEERING LTD                 | 21,434  | 17,184    | 244,013   | 370,900    | 建設・土木       |  |
| GODREJ CONSUMER PRODUCTS LTD            | 24,463  | 11,895    | 726,712   | 1,104,603  | パーソナル用品     |  |
| SOBHA LTD                               | —       | 22,675    | 1,204,656 | 1,831,077  | 不動産管理・開発    |  |
| INDIABULLS REAL ESTATE LTD              | 20,000  | 20,000    | 128,700   | 195,624    | 不動産管理・開発    |  |
| PAGE INDUSTRIES LTD                     | 590     | 535       | 983,429   | 1,494,812  | 繊維・アパレル・贅沢品 |  |
| BRIGADE ENTERPRISES LTD                 | 53,771  | 81,317    | 1,595,441 | 2,425,070  | 不動産管理・開発    |  |
| INDIABULLS VENTURES LTD                 | 5,959   | —         | —         | —          | 資本市場        |  |
| HDFC BANK LIMITED                       | 43,807  | 34,907    | 7,858,705 | 11,945,231 | 銀行          |  |
| GRUH FINANCE LTD                        | —       | 24,612    | 627,984   | 954,537    | 貯蓄・抵当・不動産金融 |  |
| INDIABULLS HOUSING FINANCE LTD          | 18,563  | —         | —         | —          | 貯蓄・抵当・不動産金融 |  |
| RBL BANK LTD                            | 5,187   | 17,377    | 657,285   | 999,073    | 銀行          |  |
| VARUN BEVERAGES LTD                     | —       | 17,588    | 1,046,147 | 1,590,144  | 飲料          |  |
| AAVAS FINANCIERS LTD                    | —       | 7,917     | 1,227,193 | 1,865,334  | 貯蓄・抵当・不動産金融 |  |
| BAJAJ FINANCE LTD                       | 4,869   | 5,743     | 1,962,322 | 2,982,729  | 消費者金融       |  |
| VARROC ENGINEERING LTD                  | 11,321  | 14,693    | 680,077   | 1,033,717  | 自動車部品       |  |
| LARSEN & TOUBRO INFOTECH LTD            | —       | 4,866     | 797,401   | 1,212,049  | 情報技術サービス    |  |
| PNB HOUSING FINANCE LTD                 | 7,556   | —         | —         | —          | 貯蓄・抵当・不動産金融 |  |
| CROMPTON GREAVES CONSUMER EL            | 50,284  | —         | —         | —          | 家庭用耐久財      |  |
| LAURUS LABS LTD                         | 11,331  | —         | —         | —          | 医薬品         |  |
| INDIABULLS VENTURES-PARTLY              | 11,624  | —         | —         | —          | 資本市場        |  |
| NBCC INDIA LTD                          | 125,517 | —         | —         | —          | 建設・土木       |  |
| YES BANK LTD                            | 19,720  | —         | —         | —          | 銀行          |  |
| HDFC LIFE INSURANCE CO LTD              | 26,847  | 23,890    | 1,285,045 | 1,953,269  | 保険          |  |
| BANDHAN BANK LTD                        | 43,951  | 35,656    | 1,601,342 | 2,434,041  | 銀行          |  |
| BRITANNIA INDUSTRIES LTD                | —       | 3,588     | 956,922   | 1,454,522  | 食品          |  |
| ICICI BANK LTD                          | 105,951 | 105,951   | 4,180,846 | 6,354,887  | 銀行          |  |
| CADILA HEALTHCARE LTD                   | 31,371  | —         | —         | —          | 医薬品         |  |
| AVENUE SUPERMARTS LTD                   | 8,216   | —         | —         | —          | 食品・生活必需品小売り |  |
| ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY | 18,154  | 16,926    | 1,911,351 | 2,905,254  | 保険          |  |
| ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD              | 18,100  | 16,977    | 1,681,827 | 2,556,377  | 自動車部品       |  |
| NATCO PHARMA LTD                        | 14,631  | —         | —         | —          | 医薬品         |  |
| 合計                                      | 株数・金額   | 1,050,176 | 768,690   | 53,347,907 | 81,088,819  |  |
|   | 銘柄数<比率> | 41        | 33        | —          | <98.1%>     |  |

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末             |              |         |        |                 |           |        |        |
|-----|-------------------|--------------|---------|--------|-----------------|-----------|--------|--------|
|     | 額面金額              | 評 価 額        |         | 組入比率   | うちBB格以下<br>組入比率 | 残存期間別組入比率 |        |        |
|     |                   | 外貨建金額        | 邦貨換算金額  |        |                 | 5年以上      | 2年以上   | 2年未満   |
| インド | 千インドルピー<br>10,766 | 千インドルピー<br>— | 千円<br>— | %<br>— | %<br>—          | %<br>—    | %<br>— | %<br>— |
| 合 計 | 10,766            | —            | —       | —      | —               | —         | —      | —      |

\*金額の単位未満は切り捨て。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄   | 当 期 末 |         |         |        |           |  |
|---|-------|---------|---------|--------|-----------|--|
|   | 利 率   | 額面金額    | 評 価 額   |        | 償還年月日     |  |
|   |       |         | 外貨建金額   | 邦貨換算金額 |           |  |
| インド   | %     | 千インドルピー | 千インドルピー | 千円     |           |  |
| 普通社債券<br>(含む投資法人債券)<br>BRITANNIA INDUSTRIES | 8.0   | 10,766  | —       | —      | 2022/8/28 |  |
| 合 計   |       |         |         | —      |           |  |

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月12日現在)

| 項 目          | 当 期 末            |           |
|--------------|------------------|-----------|
|              | 評 価 額            | 比 率       |
| 株式           | 千円<br>81,088,819 | %<br>96.2 |
| コール・ローン等、その他 | 3,174,763        | 3.8       |
| 投資信託財産総額     | 84,263,582       | 100.0     |

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(81,853,924千円)の投資信託財産総額(84,263,582千円)に対する比率は97.1%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1インドルピー=1.52円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月12日現在)

| 項 目             | 当 期 末<br>円      |
|-----------------|-----------------|
| (A) 資産          | 84,263,582,212  |
| コール・ローン等        | 3,163,489,502   |
| 株式(評価額)         | 81,088,819,394  |
| 未収配当金           | 11,234,845      |
| 未収利息            | 38,471          |
| (B) 負債          | 1,604,590,625   |
| 未払金             | 1,555,173,226   |
| 未払解約金           | 49,416,282      |
| 未払利息            | 1,117           |
| (C) 純資産総額(A-B)  | 82,658,991,587  |
| 元本              | 28,124,808,771  |
| 次期繰越損益金         | 54,534,182,816  |
| (D) 受益権総口数      | 28,124,808,771口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 29,390円         |

(注) 期首元本額は33,218,132,189円、期中追加設定元本額は1,358,880,718円、期中一部解約元本額は6,452,204,136円、1口当たり純資産額は2,9390円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・印度・フォーカス) 27,544,904,233円・野村インド株オープン投信(適格機関投資家専用) 579,904,538円

## ○損益の状況 (2018年9月13日～2019年9月12日)

| 項 目              | 当 期<br>円        |
|------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益        | 816,331,278     |
| 受取配当金            | 817,192,651     |
| 受取利息             | 38,471          |
| 支払利息             | △ 899,844       |
| (B) 有価証券売買損益     | △10,667,401,197 |
| 売買益              | 8,886,701,131   |
| 売買損              | △19,554,102,328 |
| (C) 保管費用等        | 483,289,564     |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 9,367,780,355 |
| (E) 前期繰越損益金      | 74,059,927,658  |
| (F) 追加信託差損益金     | 2,904,950,970   |
| (G) 解約差損益金       | △13,062,915,457 |
| (H) 計(D+E+F+G)   | 54,534,182,816  |
| 次期繰越損益金(H)       | 54,534,182,816  |

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限の例外の規定に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年12月7日>

## <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年9月12日現在)

| 年 月 \ ファンド名 | ノムラ・印度・フォーカス | ノムラ・アセアン・フォーカス | ノムラ・豪州・フォーカス | ノムラ・インドネシア・フォーカス | ノムラ・タイ・フォーカス |
|-------------|--------------|----------------|--------------|------------------|--------------|
| 2019年9月     | －            | －              | －            | －                | －            |
| 10月         | 2、8、28       | 28             | －            | －                | 23           |
| 11月         | 12           | －              | －            | －                | －            |
| 12月         | 25           | 25             | 24、25、26     | 24、25            | 5、10         |

| 年 月 \ ファンド名 | ノムラ・フィリピン・フォーカス |
|-------------|-----------------|
| 2019年9月     | －               |
| 10月         | －               |
| 11月         | 1               |
| 12月         | 24、25、30        |

※ 2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。